

# 年頭のごあいさつ



秋田県知事  
佐竹 敬久

明けましておめでとうござい  
ます。

皆様におかれましては、健やか  
な新春をお迎えのことと、心から  
お慶び申し上げます。

昨年は、商工会法施行55周年を  
迎えられ、地域に密着した経営支  
援機関として、皆様の重要性が改  
めて認識されるとともに、県、中小  
企業団体中央会と共同で開催した  
「秋田まるごと市in東京ソラマ  
チ」では、大勢のお客様で賑わい、  
皆様のご尽力により、県産品の知  
名度向上や販路拡大につながりま  
した。

また、産業分野では、再生可能エ  
ネルギー関連産業の拠点化に向け  
た洋上風力発電や大規模地熱発電  
の取組、航空機産業を担う人材育  
成の始動、自動車産業や情報関連  
産業等、今後成長が見込まれる分  
野の企業誘致など、県内企業がチ  
ャレンジしやすい環境整備が大き  
く前進した一年でありました。

さて、本県では、昨年10月に「あ  
きた未来総合戦略」を策定したと

ころであります。人口減少や少  
子高齢化、それに伴う経済規模の  
縮小など、本県における長年の構  
造的な課題を克服するためには、  
地域の持続的発展に必要な施策を  
見極め、地道に、息長く取り組ん  
でいくことが重要であり、秋田の創  
生のため、今こそ腰を据えてじつ  
くり取り組むべき攻めの施策を多  
数盛り込んでおります。

真の地方創生を実現するため  
には、住民自らが地域の創生に積  
極的に参画するという意識改革が  
必要であり、県では、そうした県民  
や県内企業の取組について、拙速  
にその成果を判断することなく、  
戦略的かつ継続的に支援すること  
としており、「中小企業振興条例」  
の理念に則し、商工団体と連携し  
た相談機能の強化や円滑な事業承  
継に向けた取組等を促進してまい  
ります。

加えて、「第2期ふるさと秋田元  
気創造プラン」に基づき、県民の皆  
様が潤いと真の豊かさを実感でき  
る「高質な田舎」を目指し、全力で  
取り組んでまいります。

商工会並びに商工会連合会に  
おかれましては、会員事業者が有  
する力を最大限に発揮できるよ  
う、競争力強化に向けた支援に、な  
お一層のご尽力を賜りますようお  
願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとつ  
て希望に満ちあふれた飛躍の年と  
なりますようご祈念申し上げ、年  
頭のごあいさつといたします。

## 新春対談 『青年部・女性部、 活動と期待され』

— 県青連・県女性連

「オンプログラム」としてとりまとめることにし  
ておりますが、節目の時を前にし、青年部・女性  
部の今後のビジョンについてお聞かせください。

### 今後の活動のビジョンについて

**伊藤** 「おもてなし五箇条」の精神・理念を今  
後も継続することが、まずは重要と考えてい  
ます。「このままではいけない」「何か新しい  
ことに取り組まなければいけない」という使  
命感ほどの女性部も抱えております。ワンラ  
ンク上の「おもてなし活動」を展開できるよう  
県女性連や単会女性部の会議で検討を重ね  
ているところです。50周年、そしてその先を  
見据え、若い世代の方に女性部へ加入しても  
らい、事業だけでなく、会そのものを継  
承してもらったため  
の努力、活動もして  
いかなければと考  
えております。



伊藤県女性連会長

**田中** これまで青年部を支えてきた先輩の  
思いや熱意を引き継ぎながら、「部員個人が経  
営者としての資質・能力を向上させること」

が今後のビジョンの基盤となります。部員一  
人ひとりが自社でリーダシップを発揮でき  
るようになれば、小規模事業者の更なる活  
性化、ひいては地域の活性化につながるのでは  
ないでしょうか。そのためにも、自社の上司で  
もある「親」と何度も意見を交わしながら早期  
の事業承継を目指すことも重要であり、今後  
大きな課題になると感じています。

**松浦** 両会長からは新しい年にふさわしい、  
大変心強いお話を伺うことができました。今  
年は、商工会にとって大事な年になります。  
将来の明るい展望を、商工会・青年部・女性部  
が一丸となって切り拓いていきたい、と決意  
を新たにしました。ともに頑張りましょう。  
本日は、ありがとうございました。

